

海況速報

平成 22 年度 第 5 号 (通算 No.137)
平成 22 年 12 月 27 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

11 月中旬～12 月中旬の海況

☆日本海海域

200m 層水温の水平分布から、岩内のはるか西方沖は暖水域 (指標: 100m 層水温 4℃以上) になっています。また、積丹半島以北では、沖合冷水 (指標: 100m 層水温 4℃以下) が沿岸側に張り出しており、このため、対馬暖流の流路 (指標: 100m 層水温 6℃以上) は例年よりも沿岸寄りになっています。

水温は稚内西方はるか沖合海域で例年よりも 2～4℃低くなっています (水温偏差表参照)。また、J3 線の沿岸側では、深度 200m 層水温が例年よりも約 1℃高くなっており (水温偏差表参照)、このため、対馬暖流の流量は例年よりも 7 割程度多くなっています。

余市における旬平均水温は、11 月中旬に「かなり低い」になりましたが、それ以降は「平年並み」で推移しています。

☆道東太平洋海域

道東沿岸では、道東沿岸流が流れています (指標: 50m 層水温 7℃以上)。また、道東沖の低層 (深度 100m 以深) では親潮 (指標: 水温 5℃以下) がほぼ全域に分布しています。

水温は、黒潮系北上暖水の影響が少ないため、親潮が分布している海域で例年よりも 1～5℃低くなっています (水温偏差表参照)。

☆オホーツク海海域

オホーツク海の表層 (深度 50m 以浅) を東カラフト海流 (指標: 50m 層水温 6℃以下) が広く覆っています。このため、宗谷暖流は紋別沖から潜流となって流れています。

水温は、東カラフト海流の水温が高いため、前回の観測時に引き続き、表面から 50m 層を中心に例年よりも 1～4℃高くなっています (水温偏差表参照)。この高水温化は観測時期が例年よりも半月ほど早かったことが一つの要因と考えられますが、気象庁ホームページの北海道周辺日本東方海域旬平均海面水温によれば、観測した時期においてもオホーツク表層は例年よりも高い状況でした。

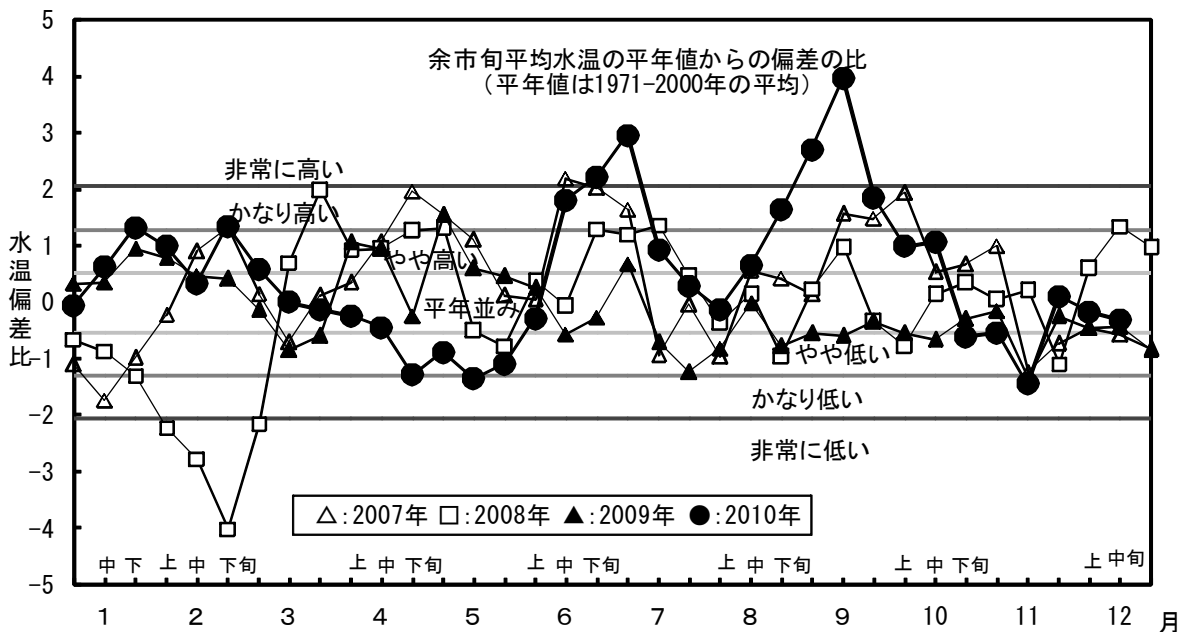
☆道南太平洋海域

100m 層水温の水平分布から、津軽暖流は沿岸モード (*1) になっています。また、200m 層では、日高沖の沿岸側に親潮がみられます。

水温は、表面と 50m 層で、例年よりも約 1℃高い海域が広くみられます (水温偏差表参照)。また、200m 層では、夏以降も低温傾向が継続しており、例年よりも 1～3℃低い海域が広くみられます (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2010/12/1-12/7	(道北道西日本海海域)
函館水試 (金星丸)	2010/12/6-12/14	(道南日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2010/11/16-11/18	(オホーツク海海域)
函館水試 (金星丸)	2010/12/2-12/5	(道南太平洋海域)
釧路水試 (北辰丸)	2010/11/30-12/6	(道東太平洋海域)

* 1 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して, 津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を, 津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

右に QR コードがあります。



